

ナガツルノゲイトウ緊急防除の様子（2025年12月2日：加古大池）

2025年春に遮光シートを敷設した加古大池において①シート未敷設箇所からの繁茂、②敷設したシートの隙間からの出現、③加古大池上流の加古大溝での繁茂を確認。緊急性が高いため、専門家の指導のもと、地元土地改良区と稻美町・県民局職員有志による緊急防除を実施

まず遮光率100%のゴム製シートを専門家が要対策箇所に合わせて事前に算出したサイズ・枚数に切り分けていく。2m×50mのロールを何本も使って約90枚のシートを作成する。



専門家の指導のもと遮光シート未敷設箇所のナガツルノゲイトウ繁茂箇所の上に遮光シートを敷設していく。基本は鉄製ペグをシートの四隅に打ち込んで固定し、ペグが抜けないようペグ上に土嚢を置く。



敷設した遮光シート間のわずかな隙間やシートの破れ目からの出現箇所も多く見られた。シート未敷設箇所同様に出現箇所を覆うようにシートを敷設する。結果として二重にシートを敷設することになる。水際は作業が難しい。



加古大池に入ってくる水が流れる水路「加古大溝」にも繁茂が確認されたため、抜き取りを行う。横のコンクリート階段の目地にも入り込んでいるため、後日目地止めを行うことに。

